

## 令和2年度 事業計画書（案）

### 基本方針

栽培漁業による水産振興を図るため、「つくり育てる漁業」を推進する魚類・甲殻類・貝類の各種苗を生産し、必需者に供給するとともに、放流を行います。ヒラメ中間育成施設の取水ポンプ設備が老朽化し、修繕が必要となっていることから、昨年度に引き続きその対策を講じます。また、昨年度事業採択されました（一社）日本釣用品工業会の LOVE BLUE 事業の専門機関と連携した放流事業について、協力をいただいた男鹿マリクラブおよび秋田県釣り連合会の評判が良かったことから、今年度も事業実施の採択がなされるよう取り組んで参ります。

### 各事業の実施計画

#### 1 栽培漁業啓発普及事業

##### 放流式の開催

例年9月第2火曜日に開催している当協会主催の放流式は、昨年度は第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会が9月7～8日開催されることから、第28回放流式の開催を令和2年度に順延しておりましたので、船川港での開催予定といたします。

協会の事業内容を広く周知し、理解を得るためホームページで情報発信します。

URL <http://akita-saibai.com/>

#### 2 受託事業

秋田県水産振興センターが飼育している水産動物の飼育管理業務を受託します。

対象：マダイ親魚、ヒラメ親魚、ガザミ種苗、アユ種苗、トラフグ種苗、キジハタ種苗等

#### 3 補助事業

栽培漁業総合推進対策事業（放流効果実証事業） 秋田県補助事業  
マダイ、ヒラメ 6の に再掲

広域種資源造成型栽培漁業推進事業（公社）全国豊かな海づくり推進協会補助事業（日本海北部海域栽培漁業推進協議会）

ヒラメ 4の に再掲

#### 4 種苗生産・供給事業

クルマエビ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

放流用	県内	2.5mm	919千尾
	県外（新潟、山形）	2.5mm	248千尾
	計	2.5mm	1,167千尾

エゾアワビ（当協会アワビ種苗生産施設（にかほ市象潟町））		
放流用	秋田県内各漁協配布	20mm 397千個
放流用	秋田県内各漁協配布	30mm 104千個
養殖試験用		30mm 3千個
	計	504千個

ヒラメ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）		
放流用	秋田県内漁協	50mm 20千尾
放流用	広域種資源造成型栽培漁業推進事業	80～120mm 40千尾
放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	80mm 32千尾
放流用	宮城県	80mm 2千尾
	計	94千尾

クロソイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）		
放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	80mm 20千尾
	計	20千尾

マダイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）		
放流用	秋田県つり連合会マダイ稚魚放流事業	85mm 4千尾
放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	85mm 20千尾
	計	24千尾

## 5 種苗斡旋供給事業

県水産振興センターで生産したガザミ種苗を斡旋し、供給します。

ガザミ

放流用	秋田県内各漁協に配布	5mm 1,502千尾
-----	------------	-------------

## 6 栽培漁業総合推進対策事業（放流効果実証事業）

マダイ、ヒラメの種苗生産、中間育成、放流及び市場調査を行います。

種苗生産（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

マダイ	30mm	550千尾 (4の分を含む)
ヒラメ	25mm	400千尾 (4の分を含む)

中間育成及び放流数

マダイ	85mm	350千尾
場所：県内3箇所の漁港・港湾、県水産振興センター栽培漁業施設		
ヒラメ	80mm	180千尾
場所：当協会ヒラメ中間育成施設（八峰町八森）、県水産振興センター栽培漁業施設		

放流効果調査（市場調査）

県内各漁協に出向き、マダイ、ヒラメの漁獲量に占める放流魚の状況を産地市場で調査します。

秋田県内各漁協

令和2年4月1日～令和3年3月31日